

米国バイオ&テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

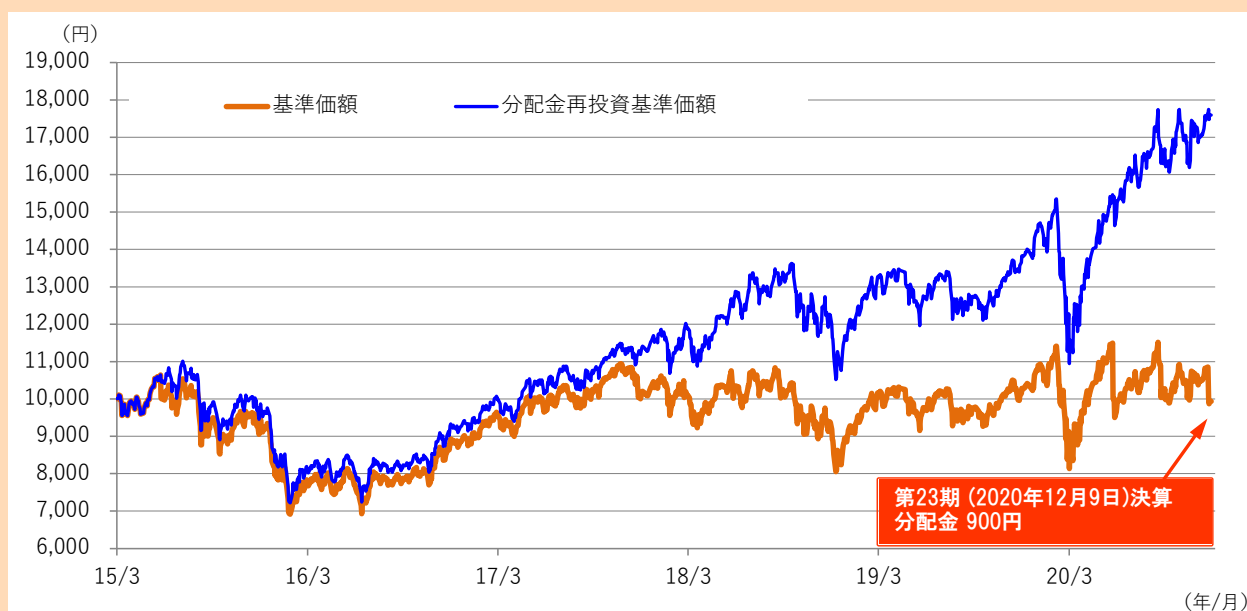
2020年12月17日

米国バイオ&テクノロジー株オープンは、2020年12月9日に決算を迎え、分配金は1万口当たり900円（税引前）とさせていただきました。なお、ファンド設定来の分配金累計額は、同5,950円（同）となっています。

12月14日現在、基準価額は9,933円、実質株式組入比率は93.5%、組入銘柄数は56銘柄、設定来の分配金再投資基準価額の騰落率は、+75.8%となっています。

運用状況（作成基準日 2020年12月14日）

設定来の基準価額推移（2015年3月17日～2020年12月14日）



ファンドデータ(12月14日現在)	
基準価額(円)	9,933
残存元本(百万口)	12,338
純資産総額(百万円)	12,255
株式組入比率(%)	93.5
短期金融商品その他(%)	6.5
組入銘柄数	56

セクター別組入比率(12月14日現在)	
ソフトウェア・サービス	24.5%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	22.1%
ヘルスケア機器・サービス	15.1%
メディア・娯楽	12.2%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.1%
半導体・半導体製造装置	6.9%
小売	2.6%

分配金実績(1万口当たり、税引前)	
第1期(2015年6月9日)	450円
第9期(2017年6月9日)	50円
第11期(2017年12月11日)	650円
第12期(2018年3月9日)	550円
第13期(2018年6月11日)	550円
第14期(2018年9月10日)	500円
第19期(2019年12月9日)	300円
第21期(2020年6月9日)	1,450円
第22期(2020年9月9日)	550円
第23期(2020年12月9日)	900円
設定来累計	5,950円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出しております。
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。
 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客でご自身で行っていただきますようお願いいたします。

【コロナと戦うバイオ関連株、コロナ禍で加速するテクノロジー関連株】

2019年12月に中国で新型コロナウイルスが確認されてから約1年が経過しようとしていますが、同ウイルスは今もなお世界中で猛威を振るっています。一方、各国政府から支援を受ける製薬会社が同ウイルス感染症に対するワクチンや治療薬の開発を進めており、コロナ禍の収束に向けての希望が徐々に見えつつあります。

当ファンドは、コロナ禍において、**同ウイルスのワクチンや治療薬の開発への期待が高まるバイオ関連株、足元で進むデジタル化の恩恵が期待されるテクノロジー関連株に投資をしております、現在の投資環境にフィットしたファンド**であると言えます。今回のレポートでは、同ウイルスのワクチンと治療薬の開発状況、当面の市場見通し、ファンドの運用方針をご案内します。

● ワクチン

ワクチンとは、感染症を予防するために用いる医薬品です。新型コロナウイルスのワクチン分野でリードしているのは、ドイツのバイオ医薬品企業のビオンテックと共同開発を行っている米ファイザーで、12月8日に英国で同社のワクチン接種が開始され、12月14日に米国でもワクチン接種が開始されました。また、バイオ医薬品企業の米モデルナもワクチン分野でリードしている企業の1つであり、12月中にも米国で同社のワクチン接種が開始される見込みです。その他、英アストラゼネカ、米ジョンソン・エンド・ジョンソン、米ノババックス、米イノビオ・ファーマシューティカルズでもワクチンの開発が進められており、世界中の注目を集めています。

主なワクチンの開発動向

企業・団体名	医薬品名	最新動向
ファイザー ／ビオンテック	BNT162b2	12月8日 英国でワクチン接種開始 12月14日 米国でワクチン接種開始
モデルナ	mRNA-1273	12月中旬 FDAがワクチンのEUAを付与する見通し
アストラゼネカ ／オックスフォード大学	AZD1222	11月23日 フェーズⅢ試験で平均70%の有効性を示したと発表
ジョンソン・エンド・ジョンソン	Ad26.COV2-S	2021年1-2月 フェーズⅢ試験の解析結果が判明する見通し
ノババックス	NVX-CoV2373	2021年1-3月 英国でのフェーズⅢ試験の暫定結果が判明する見通し
イノビオ・ファーマ シューティカルズ	INO-4800	フェーズⅡ／Ⅲ試験のフェーズⅡ部分を実施中

(出所) 各公表資料を基に岡三アセットマネジメント作成

● 治療薬

新型コロナウイルスの治療薬とは、既に同ウイルスの感染症に罹っている患者を治療するための医薬品です。米ギリアド・サイエンシズの「レムデシビル（商品名：ベクルリー）」は重症患者向けの治療薬として米国食品医薬品局（FDA）の承認を受けました。また、米イーライ・リリーの「バムラニビマブ（LY-CoV555）」と米リジェネロンの「カシリビマブ・イムデビマブ（REGN-COV2）」が中軽症患者向け抗体医薬として緊急使用許可（EUA）を取得しています。REGN-COV2に関しては、トランプ米大統領に実際に投与された抗体薬として話題になりました。米ヴィール・バイオテクノロジーの「VIR-7831」は安全性が確認され、フェーズⅢ試験の規模が拡大されたことから期待を集めています。

主な治療薬の開発動向

企業・団体名	医薬品名	最新動向
ギリアド・サイエンシズ	レムデシビル	10月22日 FDAが治療薬として正式に承認
イーライ・リリー	LY-CoV555	11月9日 FDAからEUAを取得
リジェネロン・ファーマ シューティカルズ	REGN-COV2	11月21日 FDAからEUAを取得
ヴィール・バイオテクノロジー ／グラクソ・スミスクライン	VIR-7831	フェーズⅡ／Ⅲ試験を実施中

(出所) 各公表資料を基に岡三アセットマネジメント作成

本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ & テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ & テクノロジー株オープン 追加型投信／海外／株式

【業績上振れ期待が今後も続くと想定】

2020年は、新型コロナウイルスの影響により経済活動が抑制される中、世界的に景気や企業業績の急速な悪化が見られました。一方、同ウイルスは社会全般でデジタル化が進むきっかけになったとも言え、情報技術株に関しては、デジタル化の恩恵が収益の拡大という形でこれから表れると期待されます。また、ヘルスケア株については、経済活動正常化に向けて同ウイルスの治療薬・ワクチンの開発が進む中、バイオ医薬品株の収益が今後拡大していくと考えられます。

予想EPS(1株当たり利益)成長率の動向を見ると、多くの関連セクターにおいて過去1ヵ月間で上方修正の動きが続いています。今年から来年にかけて打ち出される経済対策を背景に、企業業績がさらに向上との期待が株価の上昇要因になると考えられます。

S&P500種株価指数構成銘柄の情報技術セクターとヘルスケアセクターの予想EPS成長率（12月11日現在）

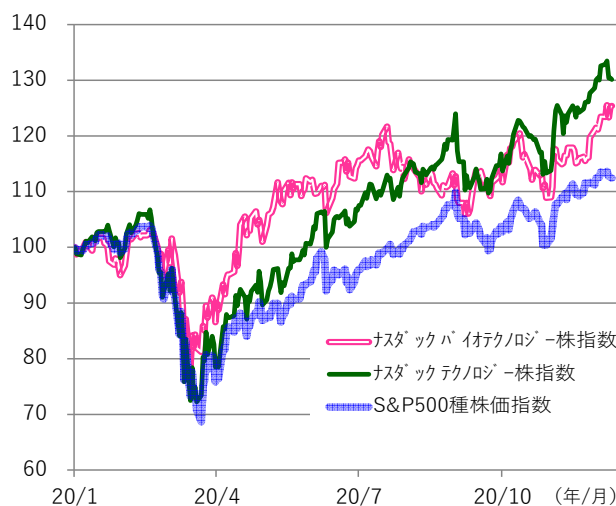
セクター	2020年7-9月期		2020年10-12月期		2021年1-3月期		2021年4-6月期	
	11/13 時点	12/11 時点	11/13 時点	12/11 時点	11/13 時点	12/11 時点	11/13 時点	12/11 時点
情報技術	4.1%	↑ 6.5%	0.9%	↑ 1.9%	14.3%	↑ 15.1%	13.4%	↑ 14.1%
半導体	10.6%	↑ 12.8%	7.8%	↑ 11.1%	16.3%	↑ 19.5%	9.4%	↑ 11.9%
ソフトウェア・サービス	9.5%	↑ 13.1%	-4.3%	→ -4.3%	9.0%	↓ 8.8%	13.7%	→ 13.7%
テクノロジー・ハードウェア機器	-8.3%	↑ -7.3%	3.0%	↑ 3.8%	22.2%	↑ 22.9%	16.5%	↑ 16.6%
ヘルスケア	10.5%	↑ 11.1%	2.8%	↑ 3.7%	13.3%	↑ 15.0%	7.2%	↑ 9.8%
ヘルスケア機器・サービス	4.0%	↑ 5.4%	-6.4%	↓ -6.8%	26.0%	↓ 25.7%	1.7%	↓ 1.1%
医薬品・バイオテック・ライフサイエンス	14.9%	↑ 15.0%	9.7%	↑ 11.7%	5.6%	↑ 8.4%	11.5%	↑ 16.6%
S&P500	-8.2%	↑ -6.9%	-10.8%	↑ -9.8%	14.5%	↑ 15.4%	43.4%	↑ 44.5%
S&P500（除く金融）	-8.0%	↑ -6.3%	-10.5%	↑ -9.5%	10.6%	↑ 11.4%	40.3%	↑ 41.1%

※予想EPS成長率が11月13日から12月11日にかけて上方修正されたセクターを↑、下方修正されたセクターを↓で表示

（出所）Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

米国の主要株価指数の推移

（2020年1月2日～2020年12月11日 2020年1月2日=100）



（出所）Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

【当面の株式市場見通し】

当面の米国株式市場は、**上昇トレンドが続く**と予想されます。足元における新型コロナウイルスの新規感染者数の増加を受けて、米国経済の先行きへの懸念が残るものの、**新政権が打ち出す追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン普及に対する期待が株価の上昇要因になると見込まれます。**

【当面の運用方針】

ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、引き続き**クラウドサービスやEコマースの需要増の恩恵を受けるソフトウェア株、業績上振れが見込まれる半導体関連株**を買い増す方針です。バイオ関連株の中では、**新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発に注力するバイオ医薬品株のウェイトを引き上げる**方針です。

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、米国の株式等価動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.815%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）